



青き楓

島高だより
平成 20 年度 4 月号

(通巻第 25 号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

「文武両道」を誓い 夢の実現～ 第 63 回生入学

第 1 学年主任 祝 利 久

桜花爛漫の 4 月 8 日、63 回生の入学式が挙行された。晴れやかな表情で受付を済ませた生徒たちは、式が始まると一転緊張した面持ちに。代表生徒の「この学校に入るべく努力を続け、結果、合格を手にした喜び」の言葉に、新鮮さと頼もしさを感じた。辰田校長は式辞の中で「初心忘るべからず」「夢実現への努力」「1 人 1 人が主役として」の 3 つの心構えを示された。

島高では高校生活スタート時点(導入期)の指導に重点を置いているが、今年の一部改善があった。予習→授業→復習のサイクル作りのオリエンテーション。3 年生が 1 年生の集団行動を(3 の 2 が 1 の 2 を)垂範指揮する時間。下級生を導く先輩の眼差しは優しく、かつ要点をきちんと伝えようとする工夫があり「タテ割り」指導による校風継承の可能性を感じさせた。

恒例の雲仙合宿研修は、行動面・精神面とも「全力を出し切ることによって自己のレベルを引き上げる」を基本姿勢に取り組んだ。「もっとやれる!!」と繰り返される指導に初めは戸惑った生徒たちも、心底力を振り絞って取り組む仲間の姿に刺激され、全体に意識が高まっていった。63 回生、現時点での印象は「はつらつとした集団」。いよいよ学習と部活動が日常的に開始される(文武両道の実践)時期。御家庭におかれましても御支援よろしく願いいたします。



新入生代表宣誓



全力で行った雲仙合宿 ～ 完全燃焼 ～



校歌・島高節・応援歌



熱心に取り組む自学



集団行動

生徒の感想
・自分と正面から向き合い、少し自分を変えることができとても良かった
・意味あるものにできるよう、自分とこれから全力で闘っていきたい
・今回の合宿で得たものは、何年たっても役に立つものばかりだった

部活動の活躍状況

〇 剣道部

平成 19 年度第 17 回全国高等学校剣道選抜大会 (3/28)

男子団体 第 3 位 優秀選手 渡邊孝士郎

第 37 回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会 (3/31)

男子団体 第 3 位 優秀選手 小森 敏也

平成 20 年度長崎県高等学校剣道選手権大会

男子 優勝 女子 優勝 アベック優勝

個人最優秀賞 甲斐 勇太、小森田 渚

個人優秀賞 大坪 学嗣、岩本 礼可

敢闘賞 吉武 剛、宮崎 菜美



表彰伝達式

〇 テニス部男子

平成 19 年度長崎県高等学校春季テニス競技中地区大会 (3/26)

男子シングル 優勝 福田 宗雅

男子ダブルス 準優勝 前田・本多組

男子ダブルス 第 3 位 福田・古賀組

〇 バレーボール部女子

平成 20 年度第 52 回中地区高等学校バレーボール春季選手権大会 第 3 位

※ 平成 20 年度ジュニアスポーツ推進事業

強化校 剣道男子・剣道女子

レスリング

推進校 ソフトテニス男子

「初心に戻り、自己を見つめ直す」

第 2 学年主任 吉 田 英 雄

第 2 学年(62 回生)の諸君。後輩(新入生)の手本となるような言動ができていますか。今一度、自身の足下を見つめ直し、しっかりとした行動を心掛けましょう。

さて、今年も、恒例の学級合宿が実施されました。1泊2日の日程、青楓寮(セミナーハウス)での実施ではありましたが、ちょうど 1 年前の雲仙での合宿を思い出し、学年の研修目標である「初心に戻り、自己を見つめ直す。」いい機会になったのではないのでしょうか。クラスの融和も図られたようで、この 1 年間、学習に、校内での様々な活動に、クラス一丸となって活動して欲しいものです。

今年は、高校総体・体育祭・大文化祭、そして修学旅行と大きな行事が沢山企画されています。いずれも中堅学年としての自覚を忘れずに、積極的に活動して欲しいと思っています。



学級活動

歓迎遠足

4 月 25 日(金)暖かな春の日差しの中、新入生を島高生として歓迎し、3 年生との交流を図る歓迎遠足が行われました。最初に、今年度島原高校に赴任された先生方の 4 月を通して感じた島高にたいする思いが語られました。

そして、メインイベントとして恒例となったクラス対抗綱引き大会が行われました。2、3 年生のクラスの盛り上がりには島高パワーを感じさせられました。1 年生も先輩達に圧倒されることなく、果敢に綱引きに取り組んでいました。



進路指導部より

平成 20 年入試結果報告 (過年度卒は把握分のみ)

合格者総数 (実数 国立 1 2 3 公立 2 2 (延 2 3) 他は延数) 20 年 3 月 3 1 日現在

	19 年度卒			過年度卒			総計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国立大学	70	45	115	5	3	8	75	48	123
公立大学	9	13	22	1	0	1	10	13	23
国公立大学計	79	58	137	6	3	9	85	61	146
準大学	9	0	9	0	0	0	9	0	9
私立大学	114	131	245	6	12	18	120	143	263
短期大学	4	5	9	1	0	1	5	5	10
医療系専門学校	4	18	22	0	1	1	4	19	23
他の専門学校	4	4	8	1	0	1	5	4	9
公務員・自衛隊・一般就職	7	1	8	0	1	1	7	2	9

(短評) 国公立大学合格者実数は 145 名で、3 年連続増加した昨年度より 11 名減少したが、卒業生総数に対する現役合格率は 52.5% となり、過去最高を記録した昨年度 (53.7%) に引き続き、2 年連続 50% を超えた。また、最難関の京都大学に 2 名 (県内公立校 2 位)、国立大学医学部医学科に 4 名 (同 2 位)、難関の九州大学に 16 名 (同 4 位) が合格し、今年度も県内トップレベルの成績を収めることができた。

今年の卒業生も勉強と部活動の両立を図りながら、最後まで粘り強く取り組んだ生徒が多かった。授業や補習に集中することはもちろん、学習合宿や休日自学、夜間学習会にも多くの生徒が参加してお互いに励まし合いながら学習に取り組んだ。また、生徒の素直さが学力の伸長につながった。このような生徒の取り組みにより、本校生徒の伸び率は、学力のみならずあらゆる面で多方面から大きな評価を頂いている。今後も伸び率日本一を目指して生徒職員一丸となって取り組んでいきたい。

※主な合格校

<国公立大学>

京都大 2 名 九州大 16 名 広島大 5 名
 熊本大 11 名 長崎大 22 名 佐賀大 18 名
 大分大 11 名 宮崎大 3 名 鹿児島大 6 名
 山口大 6 名 お茶の水女子大 1 名
 長崎県立大 9 名
 (国立大学医学部医学科 4 名・
 国立大学歯・薬学部 4 名)

<私立大学・他>

上智大 1 名 中央大 3 名 津田塾大 2 名
 東京女子大 1 名 東京理科大 5 名
 明治大 2 名 法政大 11 名 同志社大 1 名
 立命館大 6 名 関西大 1 名 関西学院大 1 名
 西南学院大 6 名 福岡大 39 名
 中村学園大 6 名 防衛大 1 名
 防衛医科大看護 1 名 九州医療福祉看護 3 名
 長崎医療福祉看護 2 名

5 月の主な行事予定

- 1 日 (木) PTA 評議員会
- 2 日 (金) 中間考査時間割発表
- 6 日 (火) 3 年学研模試 (希望者)
- 12 日 (月) 中間考査
- 15 日 (木) 代休 (17 日土曜日分)
- 16 日 (金) 公務員模試②
- 17 日 (土) 授業公開①・PTA 総会
- 20 日 (火) 防災避難訓練
- 26 日 (月) 代休 (31 日土曜日分)
- 27 日 (火) 高総体壮行会
- 28 日 (水) 教育実習 (3 週間～6/17)
- 30 日 (金) 県高総体開会式 (諫早)
- 31 日 (土) 県高総体

「島高劇場の主役・青き楓たちへ」



校長 辰田 幸敏

50 歳代になり年齢を重ねるにつれ、ふるさは遠くなりきと置いていたが、高校卒業以来 38 年ぶりに故郷に帰り、しかも母校勤務となった。おそらく、私の教師生活の中で最後の勤務校になるだろう。それだけに母校のため、母校の後輩のため、何事に対しても誠心誠意取り組みたい。

ところで、島高に着任して 2 週間経過した。この間、正門から校舎 (本館) をながめることが私の日課となっている。今から約 80 年前の昭和 6 年に完成したゴシック様式の威風堂々とした本館と前庭をながめるたびに、伝統の重さと風格を感じる。これほど風格を感じさせる校舎は県下どこにもない。私の中学・高校時代は卒業生や地域の人たちの中には「島原大学」と言う人もいた。当時の中学生はそんな「島高」(しまこう) に憧れたものだ。「楓」のバッジと 3 本の白線の帽子が男子中学生の憧れだった。今の島高生には帽子はないが、時代が変わっても制服の「楓」のバッジは、やはり中学生にとって憧れの的であるにちがいないと思う。

入学式・始業式で話したとおり、憧れの母校に誇りを持ち、平成 20 年度は島高生 1 人ひとりが「島高劇場の主役としてドラマを演じてほしい」と期待している。キーワードはくわかる→できる→身につく=自己実現>である。

新転任紹介



今年度も新たに 11 名の先生方をお迎えしました。先生方をお願いしたアンケートの中から、①教科、②趣味・特技、③自己 P R を一部だけ紹介します。

○辰田幸敏 (たつだゆきとし) 校長

- ①日本史 ②釣り、スポーツ観戦、観葉植物栽培 ③本校 22 回生、母校のため頑張ります。

○宮本等 (みやもとひとし) 先生

- ① 国語 ②弓道三段 ③本校 28 回生、伝統ある母校で全力を尽くしたい。

○尾崎郁子 (おざきいくこ) 先生

- ①家庭 ②スキー ③編み物が得意です。興味のある人、何か一緒に編んでみませんか。

○近藤真千子 (こんどうまちこ) 先生

- ①英語 ②読書、映画鑑賞、日本舞踊。 ③航空会社に 3 年勤務の後、米国で 7 年間生活。

○小森貴 (こもりたかし) 先生

- ①英語 ②映画鑑賞、釣り ③早く島原高校に慣れて、生徒の英語の力を伸ばしたい。

○内橋浩平 (うちはしこうへい) 先生

- ①数学 ②ソフトテニス ③インターハイ出場、大学では九州 2 位。文武両道に励みたい。

○猿渡雄介 (さるわたりゆうすけ) 先生

- ①数学 ②ラグビー ③小 2 から大学まで、本気でラグビーをやった。プラス思考で頑張る。

○田淵陽介 (たぶちようすけ) 先生

- ①生物 ②バドミントン ③生物が大好き。学校生活では、挨拶に力を入れていきたい。

○野崎千尋 (のざきちひろ) 先生

- ①英語 ②読書、音楽鑑賞、旅行、水彩画
③学生時代イギリス・アメリカ留学。TOEIC815 点。

○久保惣平 (くぼそうへい) 先生

- ①地理 ②弓道初段 ③武道 (弓道) を通しての人間形成の素晴らしさを生徒に伝えたい。

○伊藤祐美子 (いとうゆみこ) 先生

- ①事務 ②HP 作成 ③風光明媚で人情豊かな島原に住めることをとても嬉しく思います。

